



令和5年度
学校だより

Our Team 山川中



22日 第27号

文責 松本和基

1年生の須恵さんが、ライオンズ国際平和ポスター・コンテストで優秀賞を受賞し、鴨島ライオンズクラブの尾崎会長から表彰状をいただきました。おめでとうございます。



11月17日(金) 1年生が徳島大学病院から3名の助産師さんをお招きして、「受けつがれる命～助産師が伝えたいこと～」という演題で、命の授業を行いました。90分の授業でしたが、みんな集中して真剣に聴いていました。

私は最初の赤ちゃんの大きさにおどろきました。0.2ミリぐらいですごく小さいことが分かりました。あんなに小さかったのに私たちは今こんなに成長していてすごいことなんだと思いました。他にも妊婦体験では10キロほどあるものを身につけていてすごく重そうでした。妊婦さんはあの状態で生活していて大変そうと思うのと同時にすごいなと思いました。助産師さんの話を聞いて生まれることは奇跡だとわかりました。私たちが生まれているのはすごいことで一人一人大切な命だということを忘れず日々感謝して生活していきたいです。



11月20日(月) 市長と語る会

生徒会役員7名が「私たちがずっと住み続けられる 魅力ある吉野川市とするために」というテーマで原井市長に自分たちが考えた理想の吉野川市像を聞いていただきました。「町ごとに魅力を整理した吉野川市の開発」として、高齢者に優しいまちづくり、高越山・美郷の自然をいかした観光地づくり、子育てしやすいまちづくりについて斬新な提案をさせていただきましたが、一つ一つ誠実丁寧に応えていただきました。

また、税金の使い道を説明していただき、今吉野川市が取り組もうとしていることがよく分かりました。生徒たちは市長と間近で話をするというめったに経験できないことを体験できていい思い出となったのではないのでしょうか。お忙しい中、対応してくださった市長や職員の皆さんに感謝です。



日が暮れるのが早くなっています。遅くても18時には完全に下校し、まっすぐ家に帰りましょう。